

知ってる!?

平成27年度に新青森～新函館北斗間が開業

北海道新幹線

HOKKAIDO SHINKANSEN

vol.2



上記は、先日発表された北海道新幹線の車両イメージ。(以下は北海道旅客鉄道株式会社発表の説明文です)

車両デザインについて… 先頭形状を含む車体形状はE5系と同じです。東北新幹線と共通したイメージを持たせるため、基本の色構成はE5系をベースとしますが、帯の色は、ライラックやルピナス、ラベンダーなどを想起させる紫色(彩香(さいか)パープル)とします。また、内装の一部にも北海道独自のデザインを取り入れ、旅への期待感や高揚感を演出しました。

- 上部色「常盤(ときわ)グリーン」 ●下部色「飛雲(ひうん)ホワイト」
- 車体中央の帯色「彩香(さいか)パープル」

現在開通に向けて工事が進む北海道新幹線。先日、車両デザインや新函館北斗駅の名称なども決定され、着々とその準備も進んでおります。すでに新青森～新函館北斗の開業予定まで約600日、2年を切りました。そこで今回は決定した車両と観光関連の取り組みについてご紹介します。

新幹線開業に向けた観光関連の取り組み

せたな町単独の取り組み

●**せたな観光客受入推進協議会の設立(せたな観光協会)**

新幹線開業による交流人口の増加を見込み、着地型観光の推進及び受入体制強化を図る目的で設立(平成23年9月/事務局・せたな観光協会) 体験観光事業の推進や新たな観光メニューの研究や売り込みなど、体制整備を行っている。

●**せたな観光協会推進ビジョンを策定(せたな観光協会)**

北海道新幹線函館開業に向けて、今後のせたな観光協会の事業指針となる「せたな観光協会推進ビジョン(平成25年度～平成27年度)」を策定。体制の見直しや整備などについて検討を進めている。

●**開業カウントダウンボードの設置(せたな町)**

役場庁舎正面玄関ホールに開業カウントダウンボードを設置し、新幹線の開業についてPRをしている。

渡島総合振興局の取り組み

●**北海道新幹線の開業を活かした地域づくり懇談会設立(平成17年8月2日)**

新幹線の開業を道南圏全体の振興に結びつけるという視点で、渡

せたな町単独の取り組み

●**せたな観光客受入推進協議会の設立(せたな観光協会)**

新幹線開業による交流人口の増加を見込み、着地型観光の推進及び受入体制強化を図る目的で設立(平成23年9月/事務局・せたな観光協会) 体験観光事業の推進や新たな観光メニューの研究や売り込みなど、体制整備を行っている。

●**せたな観光協会推進ビジョンを策定(せたな観光協会)**

北海道新幹線函館開業に向けて、今後のせたな観光協会の事業指針となる「せたな観光協会推進ビジョン(平成25年度～平成27年度)」を策定。体制の見直しや整備などについて検討を進めている。

●**開業カウントダウンボードの設置(せたな町)**

役場庁舎正面玄関ホールに開業カウントダウンボードを設置し、新幹線の開業についてPRをしている。

渡島総合振興局の取り組み

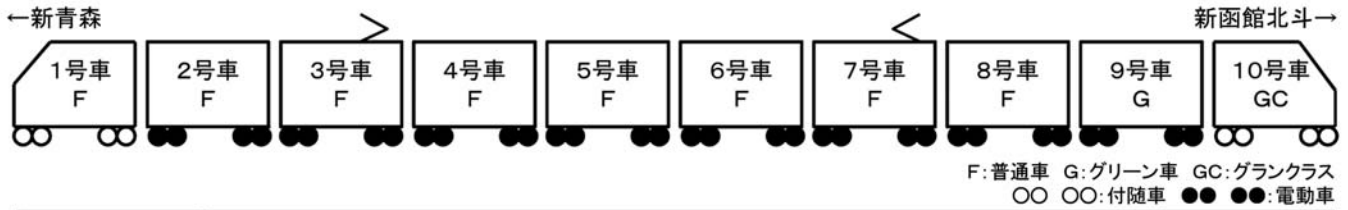
●**北海道新幹線の開業を活かした地域づくり懇談会設立(平成17年8月2日)**

新幹線の開業を道南圏全体の振興に結びつけるという視点で、渡



北海道新幹線車両 (H5系) の概要

【参考】北海道旅客鉄道株式会社発表資料



編成	10両
営業最高速度	320km/h ただし、北海道新幹線区間は260km/h（在来線との共用走行区間は当面140km/h）
定員	731名（グランクラス：18名 グリーン車：55名 普通車：658名）
シートピッチ	グランクラス：1,300mm グリーン車：1,160mm 普通車：1,040mm
サービス	○ 乗り心地の向上・・・全車フルアクティブサスペンション、車体傾斜装置（最大1.5°傾斜） ○ 電源コンセントの設置・・・グランクラス：全席、グリーン車：全席、普通車：窓側座席および客室端部
バリアフリー設備	改良型ハンドル形電動車いす対応の大型洋式トイレおよび多目的室
セキュリティ	○ 対話型非常通報装置（客室内及びトイレ内）の設置 ○ 防犯カメラ（客室、デッキ部）の設置



グランクラス客室イメージ



グリーン車客室イメージ



普通車客室イメージ

トの開催、新幹線高架橋ウォークの実施、工事進捗状況の説明出前講座などの事業を行っている。

檜山振興局の取り組み

●**檜山の新幹線観光をみんなで考える会設立（H24年7月25日）**

檜山地域が一体となって新幹線開業などで見込まれる東北・北関東地域からの交流人口の拡大と、その波及効果の増大を図るための取り組みを行うことを目的に設立。

●ドライブマップの作成やプロモーション活動など

檜山ドライブマップの作成やプロモーションとして、北海道物産展への参加、東北・北関東地域での物産PR、函館・みなみ北海道グルメパークin仙台へ出展（せたな町はホタテ焼などを販売）したほか、おもてなしセミナーの開催などを行っています。

そのほか、檜山管内各町ごとのPRポスター制作、ひやま観光DVDの制作、YOUTUBEを活用したPRも実施。

また、モニターツアーの実施や首都圏の旅行商談会参加も予定しています。

●檜山づくし弁当の創作

地域の皆さんに檜山の魅力ある食材を再認識してもらうとともに、管外へPRするため、管内7

町の食材を活かした「檜山づくし弁当」を創作。昨年試作品が完成（せたな町は海苔、お米、チーズを提供）し、平成27年度の完成に向けて研究を続けています。

広域町村協議会の取り組み

●**北海道新幹線開業を見据えた広域連携協議会設立（H24年7月25日）**

八雲町が事務局となり、渡島・檜山・後志3管内8町村の広域エリアによる基盤づくりと観光客誘致に取組むことを目的に設立。

●モニターツアーやWEBでのアンケート調査など

平成24年度に旅行雑誌編集者などを対象としたモニターツアーを実施し、広域での観光ルート造成について研究したほか、エリアの魅力についてWEB（「ぐんたび」サイト）でのアンケート調査を行い694人のサンプル意見を聴取。そのデータはルート造成の検討に活用されています。

●コンテスト形式のモニターツアーや各種セミナーなど

今後は、エリア内の旅レポートを提出して、採用されたプランを観光ガイドブック掲載するコンテスト形式のモニターツアーを実施するほか、各種セミナーや講演、講義、実演などの研修といった事業を行っていく予定です。